

ぜんにし

進路指導部より 9月16日より就職試験が本格的に始まり、就職希望者36名が、自分の進路決定に向かって努力しています。就職希望者は夏休みを利用しての企業訪問、県主催の就職ガイダンスでの面接指導講習会、受験企業が定まってきたからの学校主催の就職セミナーを体験しました。2学期に入り、担任・科主任・学年主任・進路指導主事それぞれの個人面接練習に取り組みながら受験に臨んでいます。我々教員側も、一人一人にきめ細かく指導していくことを心掛けています。また、進学希望者については、今年の特徴としてAO入試の利用者が増え、夏休みを利用して学校説明会に参加したりしてAO入試を受験し、早々と合格している生徒もいます。就職も進学も受験は長期戦です。精神的にも体力的にも粘り強くあきらめずに取り組んだ者だけが最後に喜びを得ることができると思います。早く決めてしまうのがいいのではなく、高校生活最後のこの時に、どれだけ色々な事に一生懸命取り組めたかが大切だと感じています。今後の人生を大きく左右する今を、精一杯頑張ってもらいたいと思います。



開放講座 平成20年度県立学校開放講座が本校で8/23、9/6、9/20の3日間計9時間の日程で開催され、地域の方々、保護者、学校関係者17名が受講しました。「アートフラワーを暮らしの中に」をテーマとし、本校に社会人講師として来ていただいている須藤良枝先生に講師をお願いし、花束やコサージュを制作しました。参加者は、コスモス・バラ・アネモネなどの花をモデルに、白い布を切り、染料を混ぜ合わせ、自分の思いの色に染め上げ、それにこてをあてて成形し、ワイヤーやテープで組み立てて仕上げました。初めてアートフラワーに挑戦した人がほとんどでしたが、講師の先生に丁寧に教えていただきながら



楽しく実習を行い、作品の完成には声をあげて喜びました。閉講式では、参加者全員に校長先生より修了証が手渡されました。

～受講者の感想より～ ◎花型に切ったり、布地を染色したりなどの作業もとても大変でしたが、とてもとても楽しかったです。素晴らしい講師の先生や充実した環境に恵まれた善西高の生徒達がうらやましく感じました。何ともいえない色や形の世界にたった一つの花、大切にします。◎仕上がった作品もさることながら、ここに来なければ出会えなかった人達とのふれ合いも良かったと思います。これを機会にいろいろと挑戦してみたいと思います。

定時制より 1学期末考査が終わり、夏休み前の7月11日(金)の夜、善通寺のマックスボールでボーリング大会を実施しました。当日は生徒全員が参加し、男女の2チームに分かれて各自が2ゲームずつ行い、自己記録の更新を目指しましたが、思うようにボールが投げられずガターになったり、ピンが倒れなかったりしてがっかりするやら、苦笑いをするやら…。しかし、ストライクやスペアを取るたびに、周りから大歓声が湧き上がり、生徒も教員も楽しい一時を過ごすことができました。次回はクリスマス前の2学期末に予定しており、生徒各自が素晴らしいスコアを出してくれることを期待したいと思います。



該当する番号に○をつけて下さい。 _____ 科 _____ 年(保護者氏名)

①今回の学校だよりはどうか? 1. よかった 2. よくなかった 3. よくわからない

②今回の記事の中で特に印象に残った記事はどれですか? (_____)

保育所ボランティア

8月11～15の5日間、カナン子育てプラザ21での保育所実習に計4名の生徒が参加しました。0歳児は人見知りの時期で、食事の手伝いやお昼寝の介助や遊びなどを通して次第に顔を覚えてもらったようです。1歳児は発達にかなりの差がみられましたが、次第に保育士の言葉を理解していました。その頃から友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜ぶと同時に、おもちゃの奪い合いや友達とけんかも起こすこともあり、保育士としての対応や言葉かけを学んだようです。2歳児は集団行動ができ、自分で衣服の交換や食事・トイレ等も自分でできるようになり、一度親しくなると「お姉ちゃん〇〇しよう」と声をかけてもらい、参加した生徒もうれしかったようで、子どもの無邪気な可愛さを実感したようです。



【生徒の感想より】(一部) いろいろな面で苦戦したけど皆が笑顔を見せてくれたり、昨日できなかったことが出来たりといろいろな発見や成長を見ることができ、楽しかったです。

【指導員の意見】(一部) 実習が進むにつれて表情がとても明るくなっていったように思います。仲良くなろうと努力している前向きな姿勢が伺えました。こどもたちに優しく語りかけいたところはとてもよかったです。こどもたちも心を開いてたくさん甘えていました。

デザイン科ワークショップ(実技講習会)

7月30日(水)～31日(木)の2日間、善通寺第一高等学校視聴覚教室及び第一体育館に於いて、京都造形大学子ども芸術学科長・教授 水野哲雄氏 及び同大学芸術教育推進室講師 石山潤氏を



招き、「発想をデザインする」というテーマでワークショップを開催しました。新聞紙、針金などを使用した個々の活動から始まり、徐々に集団で動くパフォーマンス的な内容、共同作業を織り込みながら、



体育館全体を使って、ロール紙を使ったドロ잉やプラスチックの梱包用カラーテープを張り巡らすインスタレーションへと発展させていき、丸々2日間という長丁場にもかかわらず、最後まで生徒の意欲を引き出し続ける内容のワークショップでした。

学校だより第14号の保護者へのアンケート結果について(回収70名、回収率92%)

設問① 1. 面白かった(57名・・・81%) 2. 面白くなかった(1名・・・2%)

3. よくわからない(12名・・・17%)

設問② 1位(芸術鑑賞教室・・・21票) 2位(高松市市民文化祭・・・17票)

3位(進路講演会・・・11名)

設問③ 学校だよりをお読みになったの率直なご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・3年生になって、みんなすごくガンバッテいるんだと感心しました。
- ・講演会の内容がわかって良かった。行事内容がわかって良い。
- ・字が小さすぎて読みづらいので、もう少し字を大きくして下さると読みやすいです。
- ・3年生だけなので、進路の話をもっと詳しく知りたいです。内容がたくさんあって良かったです。
- ・専門講演会では子どもの話だけでは伝わりにくく、記事として読めてよかったです。
- ・学校の事がよく分かるので、面白かったか?よりはよかったか?の方がいいのでは・・・。
- ・社会への又は進学への取り組みに向けて、具体的・精神的に支援と教育をして下さっているのが伝わってきました。
- ・色々興味深く読ませていただき、参考になりました。学校の活動がよく分かって良かったです。
- ・子どもからも話を聞けますが、詳しく分かり楽しめです。カラーだともっとよかったです。
- ・他の生徒さんの活躍ぶりや行事の細かい様子がよくわかります。
- ・デザイン科や服飾系の記事が多いので、食物系の生徒の記事も載せてもらいたいです。(小さなことでも)
- ・就職案内情報の広報もあつたら参考になるかと思ひます。(閉校に向けて何かイベントはありますか?)

③学校だよりをお読みになったの率直なご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[]

